

# 中学校 1年 音楽科

感じる  
想像する

話す・聞く  
書く 読む

育成したい  
国語力

感じたことを分かりやすく伝えるために場や目的に応じて表現方法を工夫する。  
思い描いたことについて、自分の意図や考え方を分かりやすく豊かに伝える。

## 題材名 「情景を想像しながら聴こう ～曲想の移り変わりを感じ取ろう～」

《和声と創意の試み》 第1集 “四季” から

### 題材の流れ

#### 第1時【関心・意欲・態度】

・ソネットを読みながら、楽曲全体を聴いて曲想の変化を感じ取る。

#### 第2時【音楽的な感受】

・繰り返し表れるテーマとなる旋律の特徴的なリズムを感じ取る。

#### 第3時(本時)【鑑賞の能力】

・ソネットの内容を表す各フレーズの曲想を感じ取り、楽曲が表現している情景を自由に想像する。

### 事後・関連

- ・作曲家、音楽史の概要及び弦楽器の種類と音色の関係について、調べる。
- ・ベートーヴェン作曲「交響曲第6番」やサン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」など、曲想と情景の関連を感じ取りやすい楽曲を選んで聴く。

### 本時の目標

- ・各フレーズの旋律やリズムや音色などの諸要素から曲想の変化を感じ取る。【音楽的な感受】
- ・楽曲が表現している情景を自由に想像させることを通して、豊かな感性を養う。【鑑賞の能力】

### 本時の流れ

#### 導入

##### 前時の内容の確認(一斉)

- ・ソネットを読み、内容を思い出す。
- ・繰り返し表れる旋律の特徴的なリズムについて、リズム打ちを通して確認する。

##### 本時の目標の確認(一斉)

- 「各フレーズの音楽的な諸要素によって表される曲想の変化を感じ取ろう！」
- 「各フレーズが表す情景を自由に想像して、言葉で表現しよう！」

#### 展開1

##### 【音楽的な感受】

- 曲想の変化を感じ取って聴く(一斉)
- ・楽曲全体を通して諸要素の特徴を中心に聴き、全体的な曲想の変化を感じ取る。

#### 視点① 感じる力

音楽の諸要素の特徴に着目して聴き取り、曲想を「感じる力」を育成します。

#### 展開2

##### 【音楽的な感受】

- ワークシートに書く(一斉)
- ・フレーズを選んで音楽の諸要素の特徴を聴き取り、ワークシートに書く。

#### 視点② 感じる力

ワークシートに自分の言葉で分かりやすく書くことによって、「感じる力」を高めます。

#### 展開3

##### 【鑑賞の能力】

- 情景を想像して書く
- ・各自がワークシートに書いたことを基にして、フレーズが表している情景を自由に想像して書く。(一斉)
- ・グループ内で発表し合い、さらに情景の感じ方を深める。(グループ)

#### 視点③ 想像する力

フレーズが表している情景を、音楽の諸要素の特徴に基づき、自由に思い描いて書くことを通して、「想像する力」を育成します。

#### まとめ

##### 本時のまとめ(一斉)

- ・各グループごとに、想像した情景を発表する。
- ・自分の想像した情景と比べて、様々な感じ方があることに気付く。
- ・次時の予告を聞き、楽曲への興味・関心を高める。

### 国語力育成の視点

本題材は、楽曲全体の曲想の変化を感じ取って、情景を自由に想像し、その内容を文章化することを通して国語力の育成を図ります。

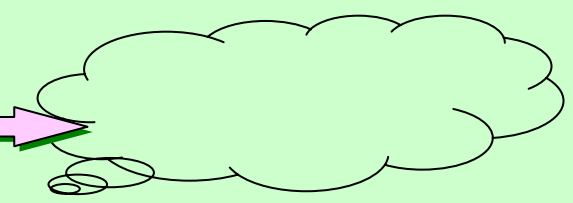
音楽を聴いて感動する豊かな感性を育むため、本時では、【音楽的な感受】及び【鑑賞の能力】の観点における「感じる力」「想像する力」を育成します。どのように感じたか、その根拠となることは何かなど、感じたことの中点を明確にし、想像力を豊かに働かせ、読み手の感じ方を考えながら書くようにします。

なお、【音楽的な感受】は、音楽を特徴付ける個々の諸要素を感じ取って聴くこと、【鑑賞の能力】は、情景を想像するなど楽曲全体を総合的にとらえて聴くこととして、区分しています。

### ワークシート

\*1枚にひとつのフレーズを記入する

フレーズを選び、表している情景を自由に想像しよう

フレーズ	旋律	リズム	音色	響き	強弱	速さ
A						
B	情景を自由に想像して書こう					
C						
D						

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術  
工芸  
技術

家庭  
生活

保健  
体育

特別  
活動

道徳

総合  
学習